

基幹労連 Nさん

沖縄での平和行動への参加は、日米の関係と平和について深く思索する貴重な機会となりました。

日米関係については、安保条約など、互いに良い関係を築いていると思ってきましたが、実は不平等な部分も多く、なかなか改善できていないことを理解できました。

米国が有利な現状を維持したい一方で、日本は不利な立場を変えたいと願いつつも、米国との良好な関係を損ねたくないという葛藤に直面している。これが、今日の日本が抱える難題であると感じます。

フィールドワークにおいては、嘉数高台、旧海軍司令部壕、ひめゆりの塔、魂魄の塔、平和記念資料館を視察させていただきました。

どの場所も戦争の名残りや悲惨さを感じることができる施設であったが、特に平和記念資料館で掲示されていた写真は普段は身近にない「死」そのものが映されており、平和のありがたみを強く感じました。

先人たちが残してくれた平和への深い感謝を胸に、今を精一杯生きながら、より良い未来を築くために、平和への小さな貢献を続けていきたいと願います。

基幹労連 Mさん

6月21日～22日の日程で「語り継ぐ戦争の実相と運動の継続で恒久平和を実現しよう」をテーマに今回初めて平和行動に参加させていただきました。

私自身、沖縄に行くのは初めてのことであり、沖縄のイメージといえばリゾート地、青い空、綺麗な海というものでしかありませんでしたが、平和行動に参加して今までの私が無知だった事が恥ずかしく思えるのと同時に、沖縄の歴史を知ることによって戦争の悲惨さを十分認識することになりました。

特に印象深かったのは2日目の旧海軍司令部壕、平和祈念公園の資料館でした。兵隊さんが実際に自決された部屋に入った時は何とも言えない空気に包まれ、79年前の無念さがひしひしと伝わってきました。また、戦争で被害にあった子供や女性の写真を目の当たりにして、戦争の悲惨さ・恐ろしさを改めて感じ、今回学んだこと、感じたことを絶対に風化させてはいけないという意識が湧いてきました。

過去の悲惨な出来事を忘れることなく、そして二度と過ちを繰り返すことがないように、次世代に平和の大切さを伝える活動を行っていきたいと思います。

交通労連 Mさん

2024平和行動in沖縄に参加させていただきました。

初日、復元工事が進む首里城を視察。今しか見ることのできない復元現場を間近で感じ、2026年の完成に向け無事に工事が完了するよう切に願っております。

その後、平和オキナワ集会に参加しました。第1部基調講演を聞き、日米地位協定問題等を含め自身の無関心さに気づくことができました。

二日目はピースフィールドワークに参加、嘉数高台→旧海軍司令部壕→ひめゆりの塔／ひめゆり平和祈念資料館→魂魄の塔→平和祈念公園／沖縄県平和祈念資料館をピースガイドの方に案内していただきました。

最後の沖縄県平和祈念資料館での多くの収蔵品や当時の写真パネルを拝見し当時の想像を絶する戦争の残酷さを知ることができました。

平和行動を振り返り、今の平和が当たり前のように感じ平和について無関心過ぎたことに気づき平和について考える機会となりました。戦争経験のない世代が戦争について学び、考え平和をつないでいけたらと思います。

交通労連 Gさん

私は6月23日から6月24日に行われました、2024平和行動in沖縄に参加させていただきました。

6月23日平和オキナワ集会では前泊教授の基調講演「再考、日米地位協定」を聞き今も沖縄が抱える問題について考えられ。平和式典では、恒久平和について考えることが出来ました。

6月24日ピースフィールドワークでは、今まで観光でしか沖縄を訪れたことが無かったのですが、今回は旧海軍司令部壕、ひめゆりの塔、魂魄の塔、平和祈念公園を視察、戦争の傷痕を見させていただき私が今まで見てこなかった沖縄の悲しい過去を見ることができました。特に印象に残ったのがひめゆりの塔に多く飾ってありました遺影です。幼い子供達の未来を奪った戦争がこの地で起きたことを実感させられました。

沖縄は過去に悲しい出来事があり、今なお日米地位協定に苦しんでいる現状が有ることを目の当たりにし、戦争の恐ろしさを知り、平和の大切さを強く感じ、平和行動の大切さを実感することが出来ました。

この行動を企画運営していただいた皆様、貴重な体験をありがとうございました。